

平成 27・28 年度 練馬区教育委員会教育課題研究指定校（豊かな心）

平成 27・28 年度 文部科学省国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校（道徳）

研究主題

かかわりを通して、ともに豊かに生きようとする子供の育成
～道徳教育の充実を目指して～

授業者の指導観を大切にした
道徳授業



指導方法の
工夫と実践



各教科等との関連を意識した
道徳教育



練馬区立練馬東小学校

平成 28 年 12 月 2 日（金）

1年

主 題 名 : みんなの物を大切に
教 材 名 : 「よっちゃんあのね」
(東京学芸大学開発資料 一部改変)

みんなが使う物を大切にしよう
とする心情を育てる。

みんなが使う物を大切にしよう
とする判断力を培う。

みんなが使う物を大切にしよう
とする実践意欲を養う。

1組

指導観

みんなが使う物を大切に
するとどんな気持ちに
なるか、考えさせたい。

2組

指導観

みんなが気持ちよく生活
するにはどうしたらいい
のか、考えさせたい。

3組

指導観

みんなが気持ちよく
生活するための心構え
をもたせたい。

学年全体として片付けに課題があるため、ねらいに迫ることができるよう、全クラスで同様の導入を行う。

導入の工夫



導入の工夫



導入の工夫



「しかたがない」「いけない」
のどちらかを選ばせ、その理由
を考えさせる。

学習問題を設定し、教材を通
して一人一人の解決策を見つけ
させる。

「自分がよっちゃんだったら
どうするか」と聞き、その理由
を話し合わせる。

中心発問

片付けずに帰ってしまったこと
について、みなさんはどう思いますか。

中心発問

なぜ、使った物は片付けなければい
けないのでしょうか。

中心発問

あなたがよっちゃんだったら、どう
しますか。

発問の工夫



発問の工夫



発問の工夫



「しかたがない」「いけない」
の意見を上下に分けた形で板書
する。色チョークを活用して、視
覚的にも分かりやすくする。

一人一人が出した学習問題の
答えを基に、自己の振り返りがで
きるよう、ワークシートの形式を
2段構成にする。

自分の考えを明確にさせるた
めに、名前を書いた磁石を貼る。
理由を発表する中で、価値実現
の難しさにも触れる。

板書を生かす工夫



書く活動の工夫



板書を生かす工夫



2年

主題名：すばらしい命
教材名：「ふしぎな音」
(文溪堂「2年生の道徳」)

生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にしようとする心情を育てる。

1組

指導観

「命って素晴らしい」という
ことを感じさせたい。

聴診器とCDで心臓の音を聞かせ、心臓
の音のイメージを膨らませる。

教材を提示する工夫



登場人物の発言の後に続く言葉を考えること
を通して、「生命の素晴らしさ」について自分と
のかかわりで考えさせる。

中心発問

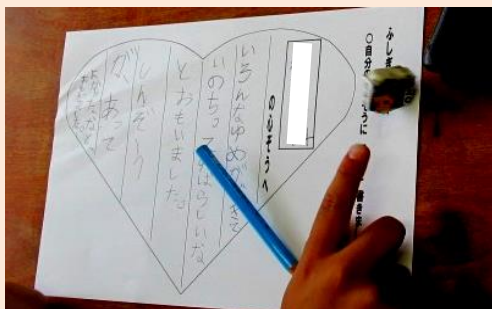
「ほんとうにそうだなあ。」とつぶやいた
しょうた君はどんな気持ちだったでしょう。

発問の工夫



振り返りでは、自分の心臓への手紙をワー
クシートに書かせる。

書く活動の工夫



2組

指導観

「生きているとはこういう
ことだ」ということを考えさ
せたい。

実際に聴診器を使って、自分の心臓の音
を聞かせる。

中心発問

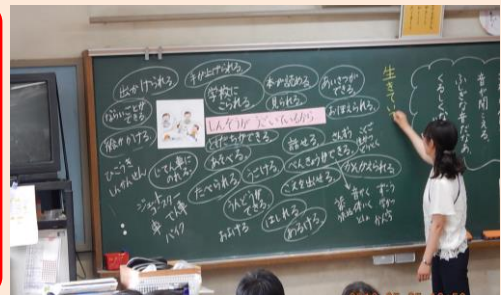
命の音を聞いてどんなことを感じましたか。

体験活動の工夫



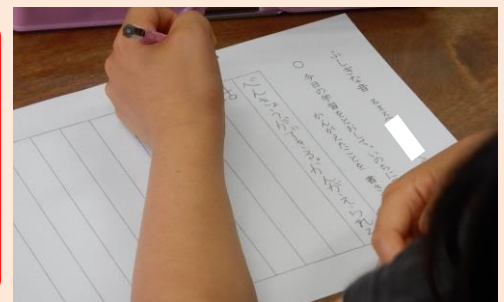
「心臓が動いているからできること」を板
書して、生きることのイメージを広げさせる。

板書を生かす工夫



振り返りでは、命について考えたことを
ワークシートに書かせる。

書く活動の工夫



3年

主 題 名 : 相 手 を 思 う 心
教 材 名 : 「 拾 っ た り ん ご 」
(文溪堂「3年生の道徳」)

相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

1組

指導観

相手のことを考える
ことの大切さに気付か
せたい。

親切について問う展開から、相
手のことを思って行う親切の大
切さについて、考えさせる。

中心発問

「ぼく」にとっての親切とは何でしょ
う。

発問の工夫



相手のことを思って行う親切に
ついての考えを交流させるため、
3人グループで話し合わせる。

話し合いの工夫



相手に親切にした時のことや、
できなかった時の気持ちについ
てワークシートに書かせる。

書く活動の工夫



2組

指導観

相手の喜びが自分の
喜びになることに気付
かせたい。

親切にすると、相手も自分も嬉し
いことに気付かせる。そして、親切
にすることのよさを感じさせる。

中心発問

おばあさんが喜んでくれて、「ぼく」
はどんな気持ちになったのでしょうか。

発問の工夫



自分の考えを深めたり、多様
な価値観を知ったりするた
めに、ペアで伝え合わせる。

話し合いの工夫



相手のことを思って親切にし
た経験や、その時の気持ちをワー
クシートに書かせる。

書く活動の工夫



3組

指導観

親切にしてもらうこ
とのよさを感じさせたい。

親切にしてもらった登場人物
に自我関与させ、親切のよさを感じ
させる。

中心発問

おばあさんは、どんな思いで新聞に
投書をしたのでしょうか。

発問の工夫



自分の考えを近くの友達と伝
え合うことで、その考えを確か
にさせる。

話し合いの工夫



相手に親切にしてもらった経
験や、その時の気持ちをワークシ
ートに書かせる。

書く活動の工夫



4年

主題名：思いやる心
教材名：「フィンガーボール」
(文溪堂「4年生の道徳」)

相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

1組

指導観

相手の立場や状況を考えて、
進んで親切にするよさについて
考えさせたい。

話の内容を深く理解するために、晩餐会
の写真を提示する。

教材を提示する工夫



名前を書いた磁石で児童全員の考えを明確
にし、その理由を話し合わせる。

中心発問

女王がとった行動は、思いやりがあると言
えるでしょうか。

話し合いの工夫



3人グループで話し合い、「親切にすること」
について、多様な意見に触れさせる。

話し合いの工夫



2組

指導観

思いやりをもって、周りの
人に親切にすることのよさを
考えさせたい。

自分とのかかわりで「思いやり」について考
えさせるために、晩餐会の場面を動作化する。

表現活動の工夫



自分の考えをはっきりさせるために、ペ
アで意見交流を行わせる。

中心発問

女王は、どんな気持ちでフィンガーボール
の水を飲んだのでしょうか。

話し合いの工夫



ペア学習で出た多様な意見を共有するた
めに、学級全体で話し合わせる。

話し合いの工夫



5年

主題名：精いっぱい生きる
教材名：「命のアサガオ」
(文溪堂「5年生の道徳」)

かけがえのない生命を大切に、精いっぱい生きようとする心情を育てる。

1組

指導観

生命は限りがある。かけがえのないものだからこそ、精いっぱい生きることを考えさせたい。

登場人物の揺れ動く心情を整理するために、「生きたい思い」と「死への恐怖」を対比させて板書する。

板書を生かす工夫



生命についての多様な考えを交流させるため、3人グループで話し合わせる。

中心発問

命のアサガオのもつ意味はなんでしょう。

話し合いの工夫



「自分にとって命を精いっぱい生きる」ということについてワークシートに書かせる。

書く活動の工夫



2組

指導観

自分にとって今を精いっぱい生きることについて、考えさせたい。

登場人物に自我関与させて考えることができるよう、スライドで教材提示をする。

教材を提示する工夫



生命の尊さや精いっぱい生きることの大切さに気付かせるために、ペアで意見交流をさせる。

中心発問

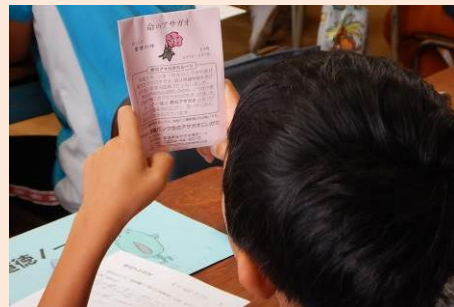
お母さんは、どんな気持ちでアサガオの種を配ったのでしょうか。

話し合いの工夫



「命のアサガオ」の種を配り、精いっぱい生きるということについて考えさせる。

終末の工夫



6年

主題名：きまりをふまえた正しい主張
教材名：「みんなの公園」
(日本文教出版「生きる力6」)

他人の権利を尊重し、自分の権利を正しく主張するとともに、自分に課された義務をしっかりと果たす態度を育てる。

1組

指導観

きまりを守って、正しい主張をする大切さを考えさせたい。

学校生活や社会におけるきまりを守れているのかどうか考えさせる。

発問の工夫



それぞれの立場に立った主張を役割演技で伝え合い、お互いがどんな考えをもっているのかを話し合わせる。

中心発問

小学生と中学生は、どんなことを思って自分たちの言い分を主張しているのでしょうか。2つに分けて話し合ひましょう。

話し合いの工夫



振り返りでは、「きまりを守ろう」と主張した経験やその時の気持ちについて考えさせる。

書く活動の工夫



2組

指導観

相手の立場を理解した上で、正しい主張をする大切さを考えさせたい。

「誰のために」「なぜあるのか」といったきまりの意義を想起させる。

発問の工夫



登場人物の役割演技を行い、義務をしっかりと果たして権利を主張する正しさについて話し合わせる。

中心発問

なぜ勇は「でも、自分たちの都合だけ考えた主張は間違っています。」と言ったのでしょうか。

話し合いの工夫



「正しい主張をした経験」を振り返り、発表させる。

書く活動の工夫



すずしろ
学級

主題名：いのちをたべていきる
教材名：「やさいからのてがみ」
(日本標準「みんなでかんがえるとうとく1年」)

生命を大切にしようとする心情を育てる。

Aグループ

指導観

食べ物にも命があることに
気付かせ、生命の大切さにつ
いて考えさせたい。

意欲的に学習に取り組めるように、道徳が
どんな学習かが分かる学級オリジナルの「ど
うとくのうた」を歌う活動を取り入れる。

導入の工夫



自分とのかかわりで考えられるように、模型
を使って実際の場面に即した教材提示を行う。

教材を提示する工夫



言葉で表すことができない児童も意見が出
せるように、一人一人に表情が違う指人形を
持たせる。

野菜はどんな気持ちでしょう。

表現活動の工夫



Bグループ

指導観

毎日食べている物にも命があ
ることに気付かせ、生命の大切
さについて考えさせたい。

学習意欲を高め、気持ちを表現することを
意識させるため、「いまのきもち」ゲームを
取り入れる。

導入の工夫



登場人物の気持ちをより深く考えさせる
ために、スライドでの教材提示を行う。

教材を提示する工夫



自分の言葉で気持ちを表現することが難
しい児童には、気持ちカードを基に考えさせ
る。

野菜たちはどんな気持ちで泣いているの
でしょう。

表現活動の工夫



